

## 8. 早期田植えおよび砂壤土での水稻除草剤の効果

### 1. 背景とねらい

除草剤の適正使用は、作物生産の省力化・安定化を図るうえで必須です。当センターでは、新しい除草剤の登録に必要なデータを提供するとともに、登録後の県内における現地指導に必要な資料を作成するため、根の活着が遅い早期田植えおよび薬害が発生しやすい砂壤土での効果や水稻に対する安全性を評価する適用性試験を行っています。

### 2. 成果の内容

本年度供試を行ったうちの登録済み 3 剤は、いずれも一発処理剤として利用できる剤で、これらの試験結果は次のとおりです。

- 1) イネヒーロージャンボ(メタゾスルフロン, ダイムロン, ペントキサゾン水和剤)は、2014 年に新規登録された剤で、砂壤土での適用拡大を目的に試験を行いました。ノビエ, 主要な広葉雑草, カヤツリグサ科雑草, SU(スルホニルウレア)抵抗性雑草も防除可能で、水稻への薬害もないことから、実用性を認めています(表 1)。
- 2) コメットフロアブル(メタゾスルフロン, テフリルトリオン, ピラクロニル水和剤)は、早期田植えおよび砂壤土への適用拡大を目的に試験を行いました。水田の主要雑草や SU 抵抗性雑草も防除可能で、水稻への薬害もないことから、実用性を認めています(表 1)。
- 3) 月光1キロ粒剤(カフェンストロール, ダイムロン, メタゾスルフロン粒剤)は、砂壤土での処理時期拡大(田植え直後)を目的に試験を行いました。水田の主要雑草に防除効果があり、水稻への薬害もないことから、実用性を認めています(表 1)。

### 3. 利用上の留意点

薬剤の使用にあたっては、農林水産消費安全技術センター・農薬登録情報検索システム(<http://www.famic.go.jp/>)により最新の農薬登録内容を必ず確認してください。

(栽培技術研究部)

#### 4. 具体的データ

表 1 水稻除草剤 3 剤の除草効果と薬害 (2014 年)

薬剤名	処理時期	雑草乾物重無処理区比 (%)									薬害程度
		ノビエ	ホタルイ	ヘラオモダカ	マツパイ	一年生 かツリ	一年生 広葉	ウリ カワ	ヒル ムシロ	合計	
イネヒーロージャンボ	田植後5日	0	0	0	0	0	t	1	0	t	無
	ノビエ2.5葉期	0	t	t	0	0	t	4	0	t	無
	ノビエ3.0葉期	0	t	1	0	0	t	7	t	t	無
コメットフロアブル	田植後5日	0	t	0	0	0	0	1	0	t	無
	ノビエ2.0葉期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無
	ノビエ2.5葉期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無
月光1キロ粒剤	田植直後	0	0	0	0	0	t	2	0	t	無
	田植後3日	0	0	0	0	0	t	2	0	t	無
対照)ザークD1キロ粒剤51	ノビエ2.0葉期	t	0	0	t	t	23	7	t	2	無

注1) 品種：あきろまん。田植：4月18日。

注2) 1年生広葉には、SU抵抗性アゼナを含む。

注3) 表中の t は、小数点以下第1位を四捨五入しても1に満たない値を示す。



図 1 除草剤の効果  
除草剤無処理区 (左) と除草剤処理区 (右)